

令和3年 5月 7日

地方鉄道 (JR) バス 海上交通

交通安全 航空 道路

その他 ()
木次線 トロッコ列車

(山陰中央) 朝日 読売 中国 日経

島根日日 交通 その他 ()

山陰中央新報



トロッコ列車・奥出雲おろち号—島根県奥出雲町八川

JR西 おろち号23年終了

木次線 老朽化で方針

JR木次線のトロッコ列車「奥出雲おろち号」(定員64人)について、JR西日本が2023年の運行を最後に終了する方針であることが26日、分かった。老朽化が進み、代替車両の確保や新造が難しいことが理由とみられる。人気の観光列車が運行を終了すれば、低迷する木次線の利用促進に影響を及ぼしそうだ。(取材班)

利用促進に影響

JR西が水面下で沿線自治体の関係者などに方針を説明。今後地元自治体と協



同社米子支社は取材に対し「運行見直しについて検討しているのは事実。最終調整中であり、伝えられることはない」と話した。奥出雲おろち号は4月から11月まで年間約150日走り、急勾配の山を列車が

クリック

奥出雲おろち号「ダイヤ」
ゼル機関車と乗客を乗せるトロッコ車、控車の3両編成。
成で、運転区間は木次駅(雲南市木次町里方)・備後落合駅(広島県庄原市)の60.8キロ。一部は出雲市駅(出雲市駅北西)からも運行している。

向きを交えながら登る「3段式スイッチバック」が見どころ。トロッコ車は窓がなく、開放的な景観が人気を集め、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年は約1万4千人が利用し

原弘支社長は2020年11月の記者会見で、老朽化を理由に「21年度までは運行できると考えているが、その後は未定」と発言していた。

木次線は1916年に運行を開始し、宍道駅(松江市宍道町宍道)から備後落合駅(広島県庄原市)までを結ぶ総延長81.9キロ。2019年度の平均通過人員(1日1キロ当たり)の利用者

数は100人で、旅客運輸収入は管内5路線で3番目に少ない。